

BUSINESS OVERVIEW

事業概要



都市ガス・LNG販売事業

強み

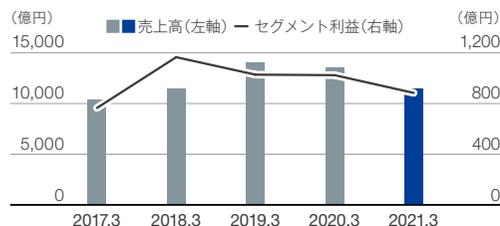
- 1,100万件超の顧客基盤、地域密着のお客さまとの信頼関係
- 「安心」「安全」をお客さまに届けてきた実績
- 生産・消費の集積地である東京を中心とする関東圏という商圏
- 保安に関わるノウハウ、エネルギーソリューション技術力を保有

リスク

- 原料輸入に関連する地政学的リスク影響等による原料調達支障
- 大規模災害に起因する製造・供給設備等の損害による供給支障
- 市場自由化による競争激化、生活形態変化による需要減少

概要 家庭用、業務用、工業用、発電用等へ用途を拡大し首都圏で展開してきた都市ガス事業は、電気やサービスを切り口に営業エリア拡大を進めます。また、都市ガスの原料であるLNGを商材と捉え直し、調達の柔軟性と価格競争力を高め、アセットを活用したトレーディング等LNGビジネスを拡大します。

売上高・セグメント利益



都市ガス販売量・小売お客さま件数



小売お客さま件数
886.3万件
2021年3月末

都市ガス販売量
129.9億m³ 日本全国の35%に相当
2021年3月期

セグメント利益
884億円
2021年3月期

日本は天然ガス調達の大部分を海外からの輸入に依存しています。日本向けLNG輸入の多くは長期契約、原油価格連動となっていますが、当社グループは、安定的に安価で柔軟性のあるLNGを調達できるよう、「調達先」「契約内容」「LNGネットワーク」の3つの多様化を進めています。

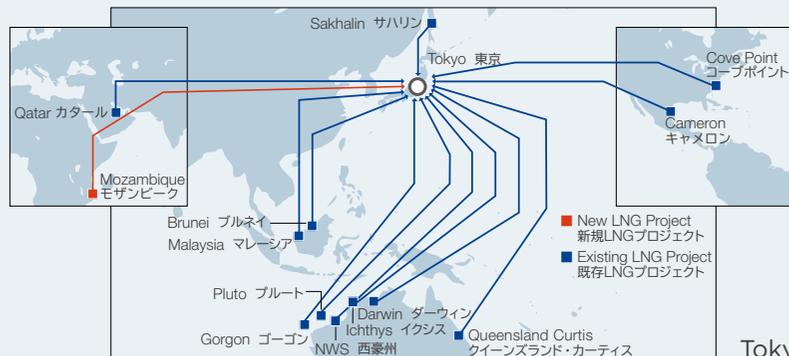
第1の「多様化」

調達先

従来の東南アジア、豪州、サハリン等に加え、2018年には米国からの受け入れを開始しました。また、2020年にはシェールイースタン・トレーディングの複数のLNG供給源からの供給契約(ポートフォリオ契約)を

開始し、調達先は16プロジェクトに拡大しました。今後も、セントリカ社との共同調達を行うアフリカのモザンビークLNGプロジェクト等、調達先の多様化を進めることにより、供給安定性の向上に努めています。

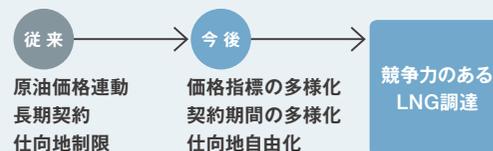
東京ガスの主なLNG調達先(長期契約分)



第2の「多様化」

契約内容

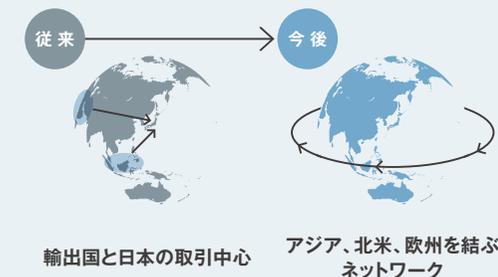
従来の原油価格を指標とする契約のみならず、米国天然ガス価格や石炭価格等を指標とする契約を加えることで、価格指標の多様化を図っています。また、仕向地制限のない契約や、短期・中期・スポットも視野に入れた契約期間の多様化により、調達の柔軟性を向上させます。



第3の「多様化」

LNGネットワーク

国内外の各社との戦略的提携を通じ、アジア、北米、欧州の市場を結ぶLNGネットワークを構築し、LNG輸送効率向上とコスト削減、調達・販売契約の柔軟性の向上を図ります。



電力事業

強み

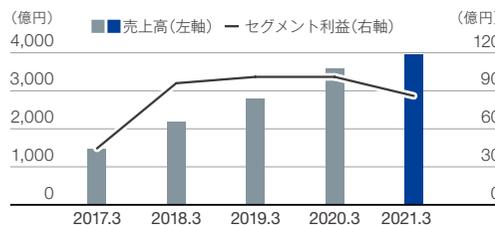
- 首都圏に新電力として最大級の高効率な大規模電源を保有
- ライフバルやエネスタ等の地域密着型の販売ネットワークと1,100万超の顧客基盤

リスク

- 電力卸取引市場価格や原燃料費の変動に伴う収支影響
- 大規模自然災害時に発生する可能性のある発電設備の損害、原燃料の供給支障

概要 電力事業では燃料調達から、発電、販売まで一貫して行っています。新電力としては首都圏で最大規模の発電所を所有し、卸・大口販売に加え、小売販売も進めてきました。今後は将来のCO₂ネット・ゼロの実現を目指して再エネ電源の獲得にも注力し、お客さまニーズに合わせた電気をお届けします。

売上高・セグメント利益



販売量・小売お客さま件数



小売お客さま件数
271.7万件
2021年3月期

電力販売量
247.6億kWh
2021年3月期

セグメント利益
86億円
2021年3月期

電力小売全面自由化5年間の実績

電力小売では、ガス・電気・サービスをワンストップでお届けするプランを展開し、271.7万件(2021年3月末時点)のお客さまに電力を供給しており、5年連続で新電力事業者、低圧分野シェアNO.1を獲得しています。

再生可能エネルギー電源の獲得

東京ガスグループでは、これまで国内外での太陽光・陸上風力発電、バイオマス発電に取り組み、再生可能エネルギー由来の電力供給を進めてまいりました。引き続きビジネスパートナーと連携しながら再エネ電源開発・調達を推進していきます。



風力発電

2005年に自社用地に建設した陸上風力の経験を活かし、山形県にて遊佐風力発電所を運営する庄内風力発電(株)に事業参画するとともに、千葉県にてくろしお風力発電(株)が運営する2カ所の風力発電所から電力を購入しています。これからは、茨城県鹿島港をはじめとした着床式洋上風力の開発を推進するとともに、将来拡大が見込まれる浮体式洋上風力にも積極的に取り組んでまいります。



海外における再生可能エネルギーの取り組み 太陽光発電

2020年8月、米国再生可能エネルギー開発事業者のヘカテエナジー社が米国テキサス州で開発した、最大出力63万kWのアクティナ太陽光発電事業を取得しました(東京ガスアメリカ)。海外でも、再生可能エネルギー電源規模の拡大を進めていきます。

再生可能エネルギーに関する近年の主な動き

- 2011年4月** 遊佐風力発電所等を事業運営する庄内風力発電(有)(現:庄内風力発電(株))に出資(出資比率:30.2%、総発電出力:14,560kW)
- 2017年2月** 太陽光発電事業を中心とした再生可能エネルギー事業に携わる自然電力(株)と資本提携
- 2018年4月** (株)ウインド・パワー・エナジーが計画を進める茨城県鹿島港洋上風力発電事業に出資
- 2018年5月** プロミネットパワー(株)および(株)九電工が、東京センチュリー(株)が100%出資していた既存太陽光発電会社(SFK/パワー合同会社)の株式をそれぞれ取得(出資比率:39%、総発電出力:9,717kW)
- 2019年12月** フランスのエンジー社が設立した、メキシコでの再生可能エネルギーの開発・運営を実施する共同開発運営会社の株式を取得(出資比率50%、総発電出力:90万kW)
- 2020年5月** 洋上風力発電向けの浮体基礎システムであるウインドフロート技術を開発・保有するプリンシプル・パワー社に出資
- 2020年8月** 米国のヘカテエナジー社が米国テキサス州で開発した、最大出力63万kWのアクティナ太陽光発電事業を取得
- 2020年11月** Northland Power Inc.および自然電力(株)が計画を進める千葉洋上風力(株)へ出資
- 2021年7月** 山口県において岩国由宇太陽光発電所(出力23,490kW)を建設し、商業運転を開始

電源開発状況 (2021年3月時点)

		持分容量 (万kW未満四捨五入)
再生可能エネルギー (太陽光・風力・バイオマス)	国内	28
	海外	108
	計	136
天然ガス火力発電	国内	287
	海外	123
	計	410

海外事業

強み

- 国内で培った中下流事業に関するノウハウ
- 原料調達活動や事業等において得られたグローバルネットワーク

リスク

- 各国固有の法規制・商習慣への対応等による事業運営の停滞・費用負担増、事業機会の逸失等
- 海外事業全般における原油・ガス価格・外国為替相場の変動による収支への影響

概要 Compass2030で掲げた目標の実現に向けて、北米、豪州、東南アジア、欧州において、資源開発事業、再生可能エネルギー事業、LNGインフラ事業を中心として展開し、海外事業を拡大していきます。

売上高・セグメント利益



原油価格・為替



売上高
459億円
2021年3月期

セグメント利益
38億円
2021年3月期



北米



資源開発事業

これまでの事業運営経験や出資先への人員派遣等を通じて得た現地の市場・規制や事業構造の知見を活かし、資源価格の動向やガス田の生産性・埋蔵量を慎重に確認しながら優良資産へ投資していきます。

中下流事業

天然ガス火力発電事業に加え、再生可能エネルギー事業についても、メキシコでの仏エナジー社との協業に続き、米国で当社単独での太陽光発電(アクティナ)に取り組んでおり、今後も注力していきます。

東南アジア



中下流事業

LNG基地・発電のエネルギーインフラ構築等ハード面での参画に加え、需要開拓、LNG基地オペレーション、LNG調達等ソフト面においても貢献し、LNGバリューチェーン全体に幅広く価値を提供していきます。

豪州



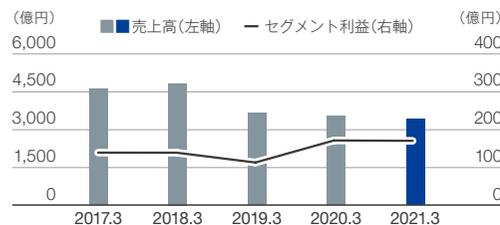
資源開発事業

東アジアへの一大LNG供給地として成長を遂げた豪州において、5つのLNGプロジェクトに参画しています。引き続き、保有資産の価値最大化に向けた運営・管理に注力していきます。

エネルギー関連事業

概要 1969年に日本で初めてLNGを導入して以来、LNGバリューチェーン全体を一貫して担ってきた過程で培った、技術力・ノウハウを活かして、国内外のお客さまのニーズに合わせ、LNG基地、パイプライン、地域冷暖房、エネルギーサービスといったソリューションをワンストップで提供しています。

売上高・セグメント利益



半世紀にわたって培った 技術力・ノウハウを活かした エンジニアリング ソリューションの提供

東京ガスグループがLNGの上流から下流までのバリューチェーンを半世紀にわたって担ってきた中で、自らが設計・建設したLNG基地、パイプライン、地域冷暖房センターなどの施設・設備を、自らが使用することで培った知見「ユーザーズ・ノウハウ」を強みに「エンジニアリングソリューション」を国内外に提供しています。

世界最大級の地域冷暖房センターが50周年 ～新宿地域冷暖房センター～



1971年に首都圏初の地域冷暖房センターとして冷・温熱の供給を開始した、新宿地域冷暖房センターが50周年を迎えました。新宿新都心の高層ビルのホテル、オフィスを中心に22カ所、供給延床面積2,270,000m²を支えています。また、東京都庁へは送電も行っています。大気汚染対策から省エネ、省CO₂、レジリエンスの向上へと、時代の要請に合わせ技術を進化させています。

タイLNG受入基地のPMC (プロジェクト・マネジメント・コンサルテーション)



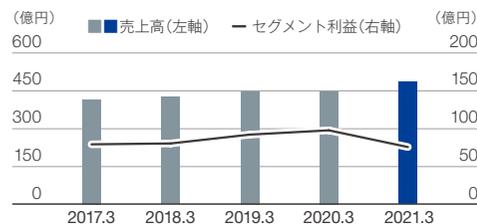
タイPTT LNG社から、「ノンファブLNG受入基地」建設のプロジェクト管理を受注し、業務を遂行中です。国内外のLNG受入基地における建設や運用により培った東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社の高い技術力・豊富な経験が認められ、受注に至りました。建設工事受注者が行う設計・調達・建設・試運転が計画通り円滑に進むよう、技術面、契約面等も含めたプロジェクト全体のマネジメントを実施しています。

地域開発サービス事業

(不動産)

概要 東京ガスグループは、136年にわたる事業展開の中で取得してきた保有地を最大限に活用し、安定収益、資産価値向上をコンセプトとしたオフィス・住宅の賃貸事業を都心部中心に展開しています。また、ビジネスパートナーとの共同事業を通じて地域密着のエネルギー提案・まちづくりに積極的に取り組んでいます。

売上高・セグメント利益



売上高
484億円
2021年3月期

セグメント利益
75億円
2021年3月期

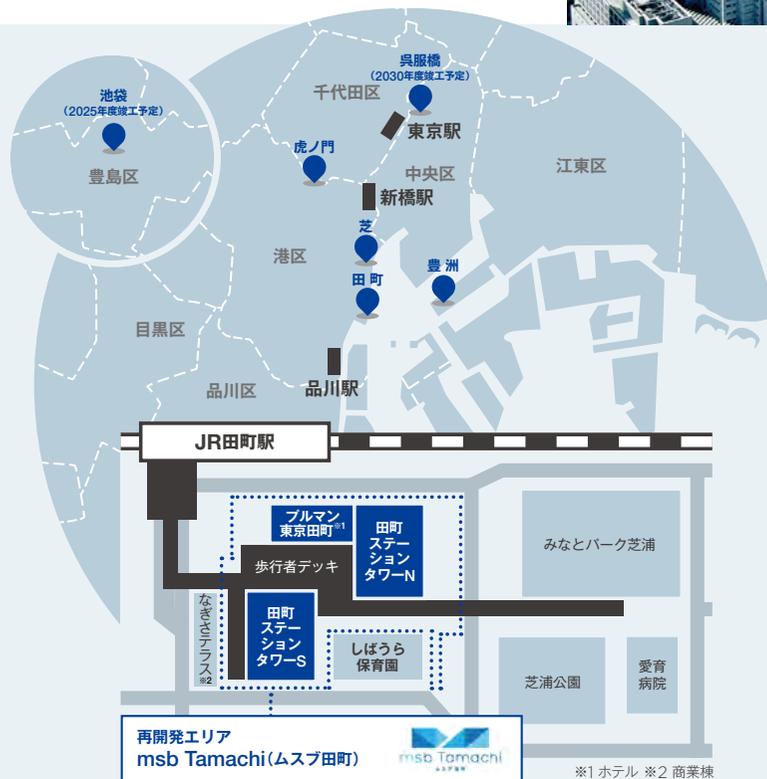
オフィス賃貸事業

msb Tamachi:ムスブ田町

都心部の大規模用地を活用した高付加価値のオフィス賃貸事業に取り組んでいます。msb Tamachi(ムスブ田町)では、スマートエネルギーネットワークやBCP強化を進めるとともに、ビジネスパートナーと先進的かつ魅力的なまちづくりに貢献していきます。2018年5月に田町ステーションタワーS・プルマン東京田町^{※1}が竣工し、2020年7月に田町ステーションタワーN^{※2}が竣工しました。

※1: 土地賃貸事業、※2: 自社投資によるオフィス賃貸事業

msb Tamachi (ムスブ田町)



※1 ホテル ※2 商業棟

住宅賃貸事業

中小規模用地において都市型賃貸マンション「ラティエラシリーズ」を展開しております。2021年1月には「ラティエラ板橋」が竣工し、累計22棟843戸の規模になりました。今後は外部からの資産取得を加速化し、本事業を通じてお客さまに提供する価値の向上と豊かな社会の実現に貢献します。

豊洲用地開発

豊洲エリアは東京駅から約4kmの距離という好立地でありながら、水と緑あふれるウォーターフロントとして一層の注目が集まっています。当社グループは豊洲埠頭に約18haの土地を保有しており、今後長期的な視点でESG経営への貢献と質の高い魅力的な街づくりに取り組んでいきます。

